

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都市立安祥寺中学校体育館・プール複合施設	階数	地上3F
建設地	京都市山科区西野今屋敷町9番地の6	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,320時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 0.0	評価の実施日	2018年4月30日
敷地面積	10,540.54 m <sup>2</sup>	作成者	須黒 大誉
建築面積	1,109.91 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	1,398.55 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 87%

③上記+②以外の 85%

④上記+ 85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 学校敷地の有効活動や事業費削減を図りながら防災強化型体育館として整備するために、既存の体育館およびプールを取り壊し、1階が体育館、屋上がプールの一体型施設として事業を実施する。		その他
<b>Q1 室内環境</b> 外断熱を採用し、室内温度環境の変化を緩和させている。また、2階南側の庇には日射調整等に有効な外フレーム(有孔ブロック)を設けている。	<b>Q2 サービス性能</b> 内装材は、できる限り市内産木材を採用し、公害等がでないようF☆☆☆☆を全て採用している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内の既存緑地帯は減らすことのない計画とし、舗装工事を行う範囲には、透水性舗装を採用した。
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電設備を設置し、自然エネルギー利用を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 当該建物はRC造ではあるもの、内装を木質化している範囲が多く、また外断熱システムを採用していることから解体時に躯体と仕上を容易に分別することが可能であり、リサイクルを促進する対策を行っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 雨水流出抑制対策として、透水性舗装を採用した。また雨水貯留槽を設けている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される